

## Masquelet 法で手術を施行した患者の術中病理検体と画像検査を用いた観察研究

### はじめに

神戸大学医学部附属病院整形外科では、骨欠損部に対して、2016年8月以降に Masquelet 法で手術を受けられた患者さんを対象に研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

### 1. 研究概要および利用目的

神戸大学医学部附属病院整形外科では、骨折や骨髄炎、骨軟部腫瘍に対する治療において生じる骨欠損に対して Masquelet 法(骨欠損部に一定期間留置した骨セメントを取り出した後に自家骨を移植する方法)という治療法を行っています。骨セメントの周囲には膜様組織が形成され、これには血管や成長因子などが含まれていると報告されていますが、詳細に検討したものがあまりないのが現状です。そこでこれまでに Masquelet 法で手術を行った患者さんおよび今後 Masquelet 法で治療を行う患者さんを対象とし、感染や悪性所見の有無を評価するために手術時に提出した病理組織検体の保管分から、特に膜様組織の標本を組織学的に評価することと術後経過における X 線や CT、MRI などの画像検査所見を対比することを目的としました。

### 2. 研究期間

この研究は、神戸大学大学院医学研究科 研究科長承認日から 2022 年 3 月 31 日まで行う予定です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者基本情報:年齢、性別、診断名、手術日、Masquelet 法の治療部位、病理組織標本、抗菌薬使用状況
- ・画像:単純 X 線像、CT、MRI、超音波画像

### 4. 個人情報の管理方法

プライバシーの保護に配慮するため、患者さんの試料や情報は直ちに識別することができないよう、対応表を作成して管理します。収集された情報や記録は、インターネットに接続していない外部記憶装置に記録し、神戸大学大学院医学研究科外科系講座整形外科学分野の鍵のかかる保管庫に保管します。

### 5. 試料・情報等の保存・管理責任者

この研究の試料や情報を保存・管理する責任者は以下のとおりです。

神戸大学大学院医学研究科外科系講座整形外科学分野 責任者:新倉隆宏

### 6. 研究へのデータ提供による利益・不利益

利益・・・本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益・・・カルテからのデータ収集のみであるため、特にありません。

### 7. 研究終了後のデータの取り扱いについて

この研究で取得した患者さんの治療に関する情報は、論文等の発表から10年間は保管され、その後は患者さんを識別する情報を復元不可能な状態にして破棄されます。また、患者さんが本研究に関するデータ使用の取り止めを申出された際、申出の時点で本研究に関わる情報は復元不可能な状態で破棄いたします。

#### 8. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合には、患者さんを特定できる情報は利用しません。

#### 9. 研究へのデータ使用の取り止めについて

いつでも可能です。取りやめを希望されたからといって、何ら不利益を受けることはありませんので、データを本研究に用いられたくない場合には、下記の[問い合わせ窓口]までご連絡ください。取り止めの希望を受けた場合、それ以降、患者さんのデータを本研究に用いることはありません。しかしながら、同意を取り消した時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合には、結果を廃棄できない場合もあります。

#### 10. 問い合わせ窓口

この研究についてのご質問だけでなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

神戸大学大学院医学研究科外科系講座整形外科学分野 研究責任者:新倉隆宏

神戸市中央区楠町 7-5-1

078-382-5985